

## 石垣ロータリークラブ週報

: 今月のロータリーレート \$ 1=111 円:



四つのテスト  
 言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなの為になるかどうか



地区ガバナー: 松坂 順一氏「研修と活性化」

◆クラブテーマ『ロータリーを楽しもう!』

国際ロータリー第 2580 地区  
 今週のクラブ紹介

### 東京西北ロータリークラブ



会 長: 清水 英世 テーマ「東京西北ロータリークラブらしさ」  
 例会日時: 月曜日 12:30~13:30 場所: 京王プラザホテル

～ 東京西北ロータリークラブの誕生 1957年4月 ～

わが東京西北ロータリークラブは、1957年(昭和32年)に設立され、来年4月に創立57周年を迎えます。所在地域を東京都新宿区として、事務局を同地、京王プラザホテル内に置き、毎週月曜日12時30分~13時30分(第五月曜日は18時~19時)同ホテルにて例会を開催しています。当クラブの会員は、広範に亘る職業の実業人はもとより、学者、医師、弁護士、公認会計士、其の他の各界で活躍中の職業人を幅広く擁し、それぞれが相互に職業を理解尊重しつつ、情報交換、助け合い等を通じ、他業種間の交流を深めております。そして、そうした雰囲気の中で親睦活動を積極的に実施し、信頼しあう仲間意識(フェローシップ)を醸成し、惹いては矜持ある職業人として相互に研鑽しあいながら、自らの職業活動を通じ、それぞれの立場に応じて「I serve」の意識を高めあう場としています。そして更に、会員それぞれによる奉仕活動に加えて、当クラブ自体としても、社会とのかかわりという観点から、次世代教育、地域貢献、タイ、ベトナムへの国際支援にウエイトをおいて、応分の社会貢献活動を実施しています。クラブ活動のうち、最も重要な例会運営については、当クラブでは従来から、見識豊かな会員各位の卓話に加え、それぞれの豊富な人脈を駆使して、各界の職者による有益かつ興味深い卓話プログラムが提供されていますが、更に、世代間のより深い交流、プロセスを重視した親しみ易い諸行事、諸活動など「出席は義務」という前に「出席しなければ損」といえるような楽しく充実感と品格のあるクラブ運営をめざしています。

<8月の予定> 15日(水):入会式/クラブ協議会 22日(水)休会 29日(水)夜間例会

🍀 会長: 遠藤 正夫 副会長: 橋本 孝来 幹事: 池城 貞光 副幹事: 大田 次男 🍀

例会日 水曜日 12:30~13:30

例会場 アートホテル石垣島(0980)83-3311

事務局 〒907-0013 石垣市浜崎町 1-1-4

TEL/FAX (0980) 83-2917

URL <http://ishigaki-rotary.jimdo.com>

E-mail [ishiroatary@ninus.ocn.ne.jp](mailto:ishiroatary@ninus.ocn.ne.jp)

《第4回 8月1日(水)例会報告 (通算 27978)》

＜司会進行＞ 櫻井 浩一

ロータリーソング:君が代 四のテスト  
ソングリーダー:松尾 和彦  
ゲスト卓話:篠崎 裕子氏(八重山病院 院長)  
メイクアップ:佐久本 達

＜出席報告＞

会員総数:43名  
出席義務会員:42名  
出席数:32名  
欠席数:10名  
出席率:76.19%



本日のココロ

遠藤正夫:篠崎院長 本日はありがとうございます。

宮良榮子:八重山病院 篠崎裕子先生の卓話に感謝

橋本孝来:篠崎院長 卓話ありがとうございます。移転順調に済むことを祈ります。

今西敦之:聖火リレー署名 よろしく願いいたします。

◆BOX ¥4,000

(累計¥36,000)

◆コイン ¥4,679

(累計¥12,935)

合計 ¥48,935



会長挨拶:遠藤正夫



皆さんこんにちは。地域では豊年祭も終わり、暑い毎日が続いています。もう8月に入り時間ばかりが早い毎日です。今日は八重山病院の篠崎院長の方から今までの歴史や新病院の移転のこととか、いろいろなお話を聞けるという事でとても有り難い事だと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

幹事報告:池城貞光

本日理事会のご報告です。前年度に退会された漢那憲仁さんのご子息、漢那憲隆さんの入会式を8/15に行いたいと思います。地区の方から「平成30年7月豪雨」災害支援金のお願いが来ております。クラブから拠出させて頂く事になりました。竹富島指田文庫の件ですが、クラブとして図書券贈呈として継続していく事になりました。八重山病院の方から引っ越しの実行委員会から広告依頼がきております。スタッフ、ボランティアの方が着るTシャツにロゴを印刷するという事です。1日で患者さんを移動する事で費用がかかりますのでこちらも会の方で対応いたします。8月のプログラム本日はゲスト卓話に篠崎先生、8日大浜印刷の大濱透氏会員卓話、15日入会式とクラブ協議会を開催いたしますので各委員長は必ず出席お願いします。22日は休会、29日は夜間例会となっております。

《会員からの報告》

米山・国際副委員長:森田安高氏

国際大会に向けて第一回目のモアイ会を今月から開催したいと思います。場所はコーナズグリスを貸切。

毎月第一週目の水曜日に開催いたしますので、よろしくお願いいたします

米山・国際副委員長:森田安高氏

国際大会に向けて第一回目のモアイ会を今月から開催したいと思います。場所はコーナズグリスを貸切。毎月第一週目の水曜日に開催いたしますので、よろしくお願いいたします。

今西敦之氏

私事ではございますが「沖縄の海を利用したオリンピック聖火リレー実施に関する陳情について」の署名について。東京オリンピックまで2年を切っておりますが沖縄から発信しようという事で海を使った聖火リレーを県を上げて国に陳情するという形で取り組んでおります。私もダイビングの仕事に携わってる関係上、ダイビング団体の方から依頼を受け、支援させて頂きましょと、本日皆様のご協力を頂きながら国に陳情してまいりたいと思っております。締切りが8/31となっておりますのでご協力頂ける皆様におかれましては事務局の方で署名捺印をして頂けると助かります。今後ともよろしくお願いいたします。

我那覇宗広氏

委員会からではないのですがある番組を紹介させて頂きます。8/4(土)21時放映されるTBS系列の世界不思議発見という番組です。台湾と八重山諸島が紹介される番組で、台湾の食べ歩きそして八重山の自然を紹介してクイズにする番組です。今私はH2Oといって3月末で認定されました星空保護区を推進する団体に属しております。初めて全国放送で八重山の星空保護区がクイズとして紹介されますのでお時間がありましたら是非ご覧頂けたらと思います。

## ゲスト卓話: 篠崎 裕子氏 県立八重山病院長



皆様こんにちは。4月から県立八重山病院の院長に就任いたしました篠崎と申します。1年前には副院長で前院長の後を継いで今回新病院の大きなプロジェクトを担う為に院長にならざるを得なかったというのが私の実感ではありますが、私なりに職員みなで力を合わせて新病院の移転を頑張っていると思っています。私は平成3年から4年間八重山病院の麻酔科医として赴任しておりました。私としても思い出深い土地なので、去年こちらの方に赴任する事になってとても嬉しかったです。だいぶ昔とは変わってテレビもNHKしか無かったのに今は民放もあつたりして都会になったなど実感しております。本日の内容として1.八重山病院の沿革 2.八重山病院の概要 3.八重山病院の特徴 4.新八重山病院建設の流れを説明して行きたいと思っております。昭和24年7月八重山民政府立慈善病院として創設、10床(職員5名)コンセット建(2棟)大川12番地(現八重山郵便局西隣)、昭和25年6月八重山総合病院(10床)、昭和32年10月八重山療養所と名称変更32床と病床が増えました。昭和35年12月真栄里(現八重山合同庁舎)へ新築移転し、琉球政府立八重山病院に改称して一般26床、その時代を反映するかのように結核病床が70床、合計96床で運営されていました。昭和45年病床96床でその時の医者数は4名しかいなかったそうです。昭和47年5月に本土復帰で沖縄県立八重山病院になりました。昭和48年5月には八重山圏域初の精神科病棟を開棟。一般26床結核70床精神科50床と病床が増えております。昭和55年4月には真栄里にあった病院が老朽化して病床も足りないという事で現在地に新築移転する事になりました。175床の総合病院として再スタートとなっております。八重山諸島:大小32の島々からなる指定離島15・有人離島13/無人島2、八重山病院がフィールドとしている地域になります。八重山の医療圏は石垣市、竹富町、与那国の3市町を合わせて平成30年1月末現在、人口55,445人、石垣市49,462人、人口の90%が石垣市内に住んでいます。それ以外に住民票が未登録な方、本土からの移住者や労働者が数千人はいるかと思われるのでそれも+アルファしないと医療圏の人口というのはもう少し

多くなるのではないかと考えております。与那国は自衛隊160人が駐屯地に赴任していますので、2018年4月から駐屯地内に診療所が開設されました。防衛医大を卒業した医師が1人診療所に常駐という事になり与那国にとっては今2人目の医師が確保できたという事になっております。理念として八重山医療圏に科学的根拠に基づいた医療を提供いたします。1.「安全な医療」を提供します。2.「安心でやすらぎのある環境」を提供します。3.「患者中心のサービス」に努めます。4.「満足の頂ける医療」を提供します。というのを理念に掲げて日夜職員と一緒に頑張っております。八重山病院の診療科目を紹介したいと思います。平成30年7月現在、十数名の医師がいますが毎年4月に、1年で医師の50%がほぼ入替えとなります。昨年度の6月に脳外科医1人赴任していただいたので現在、診療休診は眼科のみとなりました。しかし市内に眼科の先生方がいらっしゃるお陰で急な症例が出てきた場合には連携をしながら診療を行っております。当院の病床数と職員数、稼働病床数288床(H30年7月末)実際は350床を持っておりますが、看護師さんの配置が難しいという事と古くて使えない為、閉めている病床もあります。その為現在は288床で確保しております。当院は八重山においての2類感染症の指定病院でございますので結核病床6床と感染症病床3床を保有、精神科病床50床(保護室2床)があります。平成30年6月現在の職員数は約493名(医師45名看護師195名医療技術員47名事務職22名嘱託員107名その他(派遣・委託)77名)います。八重山病院の特徴として日本最南西端の急性期中核病院また、国境の近くにあるという唯一の総合病院としての位置付けがあります。急患搬送、洋上救急が県立病院の中でも八重山病院の特徴的な業務の1つです。1人診療所の医師がいる所で急患が発生した場合その先生がその患者さんと一緒にヘリで八重山病院に来てしまうと、先生が離れる事で医者がいない無医地区になってしまう、その間に何かが起こっても誰もいないという事になりますので、急患搬送の要請がありましたら、八重山病院の医師が海上保安庁のヘリに昼夜問わずに乗り、診療所の先生から患者さんを引継ぎ病院に収容するという役目を持っています。先生達も嫌がらずに命の為に乗って行って下さるのは本当に頭が下がる思いであります。現在、人材確保が困難という事で眼科医が見つかっておりません。医師、看護師、コメディカル・医療専門事務職というような限られた地域でこのような資格のある人材を見つけるのはなかなか難しく、やはり県立からの人事異動でどうにか補っているというような状況



であります。石垣市に夜間診療所が無い為に八重山病院は風邪からちょっとしたケガからすべてを看ているという事があり先生達の負担はかなりのものだと思っております。また減圧症による高気圧酸素治療も他の県立にはない機能になっております。災害拠点病院としての位置付けではありますが現在、病院の中にはヘリポートは無く石垣市の消防署にあるヘリポートを使用させていただいていますが、そのヘリポートに関しても石垣市の新庁舎が出来た時には海上保安庁としてはそこには降りれないという事があるので、新石垣空港まで私達は患者さんの搬送も出向かなくてはならないというような時間のロスも今後生じるのではないかと懸念しております。それと2類感染症指定病院ですので、今後石垣市の観光客の誘致というのは経済にとっては良い事なのですが、むしろ2類感染症のリスクは高くなります。輸入感染症が石垣島に入るリスクはよく考えていかないといけない事かなと思っております。地域がん診療病院、がんの方達が最後を迎える為の緩和ケアとかも一生懸命やっております。お産が出来る病院としては八重山病院しかありませんので、NICUとかの機能も担ったセンターも開設しております。H25年3月に新空港が出来ましたので観光客も急増しております。その為に救急患者に占める県外患者数も年々増加しております。2012年2月から海上保安庁のヘリが2機に配備されました。それで急患搬送を担って頂けるのはとても心強いですけれども、そもそも急患搬送は海上保安庁の任務ではありません。海を守る尖閣の問題とかも含めた巡視というの事があり、1機しかいないという時には運べないというのも出てきてはいますが、協力的に患者搬送にはすぐに飛んで頂いております。海上保安庁のヘリは周辺離島から石垣島に患者さんを搬送しますが、逆に八重山病院から本島まで搬送しなければいけないという事が多々あります。そういう時には自衛隊のヘリを要請して空港に自衛隊のヘリが来てヘリに医師と患者さん家族が乗って本島まで行くというような事も行っております。たまに固定翼が来て頂くこともあります固定翼だと1機1時間で済みますが、ヘリだと2時間要してしまいます。リクエストはできないけれども対応して頂けるだけでも有り難いと思っております。今後の課題としては、建設費高騰で物を買えない状態、ヒト、カネ、ハード、救急と課題山積です。経営・財政的問題に関しても不採算部門をいかにするか。台風が来た時の離島での対応をどうするか。病院老朽化でH27年度着工、H30年度に開院。3回目にやっと落札しましたが建築費が高騰した為に大幅に予算オーバーしました。これまでタイルが落ちたり水漏れ

と老朽化が進み、新しい病院を作らなくてはならないという事で当時の仲井真知事の方から指示があり急遽作る事が決定した次第です。今の機能をちゃんと維持しつつ新しい病院のコンセプトも含めて考えていきたいと思っております。10月1日に開院予定になっております。9月30日朝から患者さんを含めた引っ越しを行います。八重山地区医師会、介護施設の方達からの善意で患者さん移送の為の車を貸していただいたり、石垣島の皆様にはいろいろ手助けをして頂きながらの引っ越しを行う事になりました。全患者さんは160名、重症な患者さんもいますので、石垣市から救急車を貸して頂いて午前中でのうにか終われたらいいと思っております。皆様のご協力よろしくお願いたします。

### 施設規模の比較

《現病院》	《新病院》
・病床数:350 症	・病床数:302 症
・診療科:23 診療科	・診療科:24 診療科
・敷地面積:24,320 m <sup>2</sup>	・敷地面積:40,000 m <sup>2</sup> (約1.4倍)
・延症面積:15,593 m <sup>2</sup>	・延症面積:23,000 m <sup>2</sup> (約1.6倍)
・構造:RC構造	・構造:RC構造
・築38年経過	・* 歯科口腔外科新設

### 新病院の主な特徴

- ・可能な限り圏域内で完結できる医療機能のために最新医療機器を導入  
例:320列のCT 血管造影装置 マンモグラフィ 骨密度測定機器 歯科パノラマCT装置 など
- ・輸入感染症などに対応するために陰圧式の感染症病室を整備
- ・最新の高気圧酸素治療装置を新たに導入
- ・沖縄県初の敷地内薬局も設置

### ～例会の風景～



### バナーの贈呈

